

令和5年大磯町議会

12月定例会一般質問（12月7日・8日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1 7番 竹内恵美子議員 （60分） 9:05～10:05</p>	<p>1. 大磯駅前広場の進捗状況等について 大磯駅前広場の整備計画については、平成30年3月に大磯駅周辺安全安心・賑わい創出計画が策定されてから、大磯地区、国府地区を合わせて4回の説明会やパブリックコメントを経て、度重なる修正作業をおこなってきたと承知している。 しかしながら、令和4年3月議会では、住民への説明が不十分であるということなどを理由に、大磯駅前広場の整備の予算を削除した補正予算が可決された。 その後、町は大磯駅前広場整備の進め方を変更して、駅前広場の西側の交通島の縮小や東側の交差点改良や障害者用駐車スペースの安全安心に係る内容は早急に整備を進め、また、バス停上屋や電線の地中化などの利便性の向上に係る内容は、改めて町民の意見を聞きながら検討を進めることとして、令和4年6月議会において、用地取得、設計費などの補正予算が可決された。 そして、昨年8月に、町民への説明会と町民アンケート調査を実施し、町民の意向把握を行った。 このように6年に及ぶ修正、検討を経て、ようやく整備工事が始まり、現在大磯駅東側の店舗が解体され、駅前の様子が変わりつつある。 そこで、以下について伺う。 (1) 大磯駅前広場整備事業の進捗状況はいかがか。 (2) 昨年11月11日の総務建設常任委員会で説明のあった整備スケジュールに変更はないか。 (3) 県道大磯停車場線の拡幅整備の状況はいかがか。</p> <p>2. 大磯幼稚園の認定こども園化について 大磯幼稚園の認定こども園化については、町長より9月議会の冒頭「行政報告」において、「町立かあるいは民間の力を借りるか、いずれの可能性も排除しないゼロベースで、幅広い視野でいま一度検討する」との報告があった。 その後の取り組みはどのように進んでいるのか、進捗状況について伺う。 (1) 町長は、公私連携幼保連携型による認定こども園化に対し、突然の方向転換により町立による認定こども園の設置を目指してきた。町長就任から1年が経とうとしているが、子育て世代の皆さんが待ち望む待機児童対策は進捗が見られなかった。在園している園児の保護者や、認定こども園の開園を心待ちにしていた保護者は、町長の方針が度々変わることで、いつになったら開園できるか不安を抱いている。このことに対する責任をどのように考えているのか。 (2) 9月議会では、認定こども園に関連して多くの議員より一般質問が</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

	<p>行われ、この件に関しては、所管の福祉文教常任委員会で閉会中の審査がおこなわれている。また9月議会最終日には「大磯町立大磯幼稚園の認定こども園移行の早期実現と待機児童の早期解消を求める決議」が議決され、町長に対する要望が出された。これらの経過を踏まえると、今後の認定こども園化をどのように進めていく考えか。</p> <p>(3) 大磯幼稚園の認定こども園化については、当初予定していた、令和6年4月の開園が困難になったことからその間、待機児童の解消を図るための環境整備として、預かり保育時間の拡充やデリバリー給食の提供など、大磯幼稚園におけるサービス拡充を行うとの答弁が9月議会の一般質問であったが、令和6年度の待機児童対策をどのように進めていく考えでいるのか。</p>	
<p>2 13番 おかみゆき議員 (80分) 10:25～11:45</p>	<p>1. 明治記念大磯邸園の一部開園と旧吉田茂邸の集客策について</p> <p>来年度に予定される明治記念大磯邸園の一部開園（旧大隈・陸奥邸）では、多くの観光客が大磯町に来訪すると見られている。この明治記念大磯邸園の一部開園に関する町行政の課題については、9月議会の一般質問で取り上げたが、その後の状況について確認するとともに、明治記念大磯邸園の一部開園と連携した旧吉田茂邸の集客策について伺う。</p> <p>(1) 令和7年度の全面開園に向けた町立公園部分の指定管理にあたる事業者に関する公募選定について、前回の一般質問で触れられた公募仕様書の作成のスケジュールについて伺う。また、入園料金に関する国との協議状況についてもその進捗を伺う。</p> <p>(2) 明治記念大磯邸園の一部開園や全面開園に向けた今後のスケジュールについては、先の議会報告会でも町民への情報提供や説明が足りない指摘されている。町民や地域住民への邸園の状況に関する情報提供・説明についての町の考えは如何か。</p> <p>(3) 明治記念大磯邸園の開園において、地元文化人の協力を得て広報の充実が必要であると考える一方で、観光誘致を図る明治記念大磯邸園や旧吉田茂邸の集客には潤いづくり協議会との連携を踏まえ今後の計画や検討についてどう進んでいるのか。</p> <p>(4) 明治記念大磯邸園一部開園にともない、大磯町商工会からお土産物売場の確保が要望されていると承知するが、国との交渉はどうなっているか。</p> <p>2. 中学校部活の地域移行に関する町の取組みについて</p> <p>部活の地域移行を進めるには、部活そのものの活性化や教員の働き方改革といった基礎的な課題への対応を重ねた上で、地域の指導者の確保が不可欠となる。そのためには地域のスポーツ熱を高める必要がある。大磯らしさを考慮し、サーフィンやパラスポーツイベントの誘致を進め、地域のスポーツ熱を高めると同時に、その収益を部活の地域移行や指導者育成の財源に充て、プラスの循環を作り上げることが必要と考える。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 部活動の活性化には、休部中の部の再開や新たな部活動の創設が必要とされ、生徒が興味を持つ活動に取り組めるようにすることが重要</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p>

	<p>と考えられている。この課題に対して、行政がどのように実態を把握し、具体的な対策を考えているのかを問う。</p> <p>(2) 働き方改革が進む中、教職員の業務負担軽減が重要。しかし、子どもたちへの視点を欠かさず、教育環境や部活の選択肢を確保する課題と働き方改革をどう両立させるかについて見解を問う。</p> <p>(3) 上記課題への対応を重ねた上で、中学校部活の地域移行を進める際、どのような具体的なステップや計画が考えられているか。</p> <p>(4) 地域の指導者を確保するためには、スポーツ熱の向上が重要である。サーフィンやパラスポーツイベントの誘致を通じて、地域のスポーツ熱を高める取組みを進めたらどうか。</p> <p>3. 学校教育施設整備基本構想について</p> <p>大磯町の小中学校の校舎など学校施設は、大磯中学校の1号館が築60年を超えているなど老朽化が進んでおり、今回の基本構想に沿って一日も早い建替えや大規模改修が望まれる。</p> <p>しかし、今回の基本構想は、基本構想の名前の通り、学校教育施設の今後の整備に関する基本的な考え方をまとめたものであり、実際に子ども達の見目線からどんな居心地の良い学校施設にしていくのか、今後の検討に委ねられていると承知する。</p> <p>そこで、今後の学校施設の整備にあたっての具体的な課題について、いくつか確認させていただく。</p> <p>(1) 今後、具体的な学校施設整備を進めるにあたっては、障がい者や学校へ行けない子どもへの配慮、具体的には、支援級や子どもの居場所などの整備について検討すべきと考えるが、今後の方針は。</p> <p>(2) 学校施設整備を進めるにあたっての中学校給食実施についての考え方はどうなっているか。施設整備の完成を待たず、前倒しで進めるべきではないか。</p> <p>(3) 学校施設整備には全部で約100億円かかると伺うが、資金計画をどのように考えているか。</p>	町長 教育長
<p>3 3番 鈴木たまよ議員 (60分) 13:00~14:00</p>	<p>1. 町立大磯幼稚園のこども園化について</p> <p>町立大磯幼稚園のこども園化については、池田町長の公約に則り町立で進められてきたが、9月定例会初日に町長は「町立かあるいは民間の力を借りるか、いずれの可能性も排除しない、ゼロベースで、幅広い視野から今一度検討した上で現実的な方策を具体化し、町民及び議会に示した上で進めていきたい」と述べられた。</p> <p>また、9月議会最終日には「大磯町立大磯幼稚園の認定こども園移行の早期実現と待機児童の早期解消を求める決議」が町議会から出されている。</p> <p>町長のゼロベース発言や議会からの決議が提出されてからおよそ2か月が経とうとしているが、こども園についての具体的な内容は未だ不明で、今後を心配している保護者も多い。</p> <p>1日も早い待機児童解消に向けて、以下の3点について町の考えを伺う。</p>	町長

	<p>(1) 町立大磯幼稚園では以前より保護者から要望のあった平日の預かりサービスを令和4年度より週3日から週5日に拡充している。また、今年の9月には「まちのこえ」に寄せられた町民の方からのこども園化についての質問に対し、町は令和6年度には早朝保育や預かり保育、希望者へはデリバリー給食の提供など保育サービスを拡充する予定であると回答している。それが実現できるのであれば、大磯幼稚園をこのまま残し、0・1・2歳児の保育施設のみを作れば良いのではという声も町民から聞こえている。</p> <p>今、こども園化することは本当に必要か。</p> <p>(2) 昨今は、子どもを取り巻く家庭環境もさまざまである。保育施設が民営となった場合、セーフティネットは十分に保障されるのか。</p> <p>(3) 当初予定していた令和6年4月の開園が間に合わない今、待機している児童のために町ができる最善は何か。</p>	
<p>4 12番 毛利 泰輔議員 (60分) 14:20～15:20</p>	<p>1. 本庁舎建替えについて</p> <p>令和5年9月の定例会の補正予算審議で、現庁舎（築52年経過）の耐震補強による利用継続を判断する耐震調査費（2,420万円）が否決され、その後「新庁舎建設を最優先で進める」と方針変更された。10月20日、11月8日の総務建設常任委員会協議会で、新庁舎整備（現敷地内）の考え方、新庁舎整備事業の今後の進め方（令和7年度完成予定）について説明がなされ、今定例会でアドバイザー業務契約の補正予算、令和6年2月に当初予算要求の状況にある。</p> <p>下記について伺う。</p> <p>(1) 従前の大磯町新庁舎整備基本構想における基本計画・基本構想で庁舎整備の必要機能（①防災の拠点となる安心安全の庁舎、②町民サービスの向上につながる庁舎、③誰もが快適で使いやすい庁舎、④環境と共生する省エネルギーな庁舎、⑤経済的で合理的な永く使える庁舎、⑥まちづくりの拠点となる庁舎）の6項目が提示されているが、変更はないか。</p> <p>(2) 特に行政機能を2、3、4階の案が示され、窓口業務を2階とした説明がなされたが、人流・動線で来場者（特に高齢者）の負担になるのではないか。</p> <p>(3) 車両（公用車、来場の車両）のアクセス方法と駐車場は、どのような計画か。</p> <p>一方通行の案が示されたが、西側の町道（約2.4m）を拡張し、6m道路（民家側歩道整備、及び東側の出入りも可能）とし、メインの出入口とすべきではないか。</p> <p>(4) 新庁舎整備費用の総額32.5億円で平面駐車場は確保し、従前計画の立体駐車場整備費用（11.88億円）が含まれないが、後に整備するのか。</p> <p>(5) 整備費用の財源で本庁舎建設基金14億円、交付税措置15.4億円、町単独費3.1億円と示されたが、この10月の説明の交付税措置15.4億円について確認したい。</p>	<p>町 長</p>

	<p>2. 大磯町デジタル化推進計画について</p> <p>令和5年9月14日の総務建設常任委員会協議会で、大磯町デジタル化推進計画が提示された。今後の進め方も含めて、下記について伺う。</p> <p>(1) システムの標準化・共通化の確認 基幹系業務システムで「神奈川県町村情報システム共同事業組合」利用の状況と今後の方針は。</p> <p>(2) 業務の自動化・効率化に向けた取り組み</p> <p>① 働き方改革につながる施策について</p> <p>② お客様（町民）の負担低減策について</p> <p>③ 自治会（自主防災含む）、民生委員・児童委員への情報提供について（地区別人口統計、要支援者、回覧などの電子データ化他）</p> <p>④ 各業務における情報・データ（分析し判断に利用できる）の在り方について</p> <p>⑤ 部門間の連携（人材育成・体制・プロジェクト化）について</p> <p>(3) ライフビジョンシステム 危機管理はタブレットによる双方向利用、一般（スマホ等）に開放・利用の各業務のお知らせ・HP（ホームページ）とのリンクが運用されているが、今後の拡張等について</p> <p>(4) 地域社会のデジタル化「デジタル田園都市国家構想基本方針（令和4年6月7日）閣議決定）の取組（大磯町専用（必要とする）システム）について</p> <p>① デジタル庁（助成金対応）の提案について</p> <p>② 新庁舎建替え・防犯等への対応</p> <p>③ 観光・商業の活性化（いそたび）に結び付ける対応</p> <p>(5) 各業務（議会との連携含む）のペーパーレス化の進め方について</p> <p>(6) 政策課（情報化推進係＝デジタル化推進担当）がDX（デジタル・トランスフォーメーション）対応での技術的マトメ部署と考えるが、上記2）の部門間連携含め、専門人材確保と体制強化が必要ではないか。</p>	町長
<p>5 11番 高橋 英俊議員 （60分） 15:40～16:40</p>	<p>1. 大磯町立小学校のいじめ問題について</p> <p>今年4月に被害児童保護者が町の一連の対応について情報開示請求をされて、「重大事態」に認定された件について町長、教育長に伺う。</p> <p>(1) 11月16日に議員全員協議会を欠席し、学校視察、教育委員との懇談を行ったと伺ったが、懇談の場で当然、いじめ重大事態について話し合われたと思うが、その認識で間違いないか。</p> <p>(2) 第三者委員会の委員長と加害児童の父親が顔見知りであるとの認識はあるか。</p> <p>(3) 第三者委員会の第三者という意味を教えてください。</p> <p>(4) 第三者委員は、誰の責任で、どういったプロセスで選任したのか伺いたい。</p> <p>(5) 今回の問題の一つに、加害児童の保護者のなかに前町議がおり、教育委員会の付度が疑われたにも関わらず、第三者委員会にその前町議と顔見知りの方を選任した理由を伺いたい。</p>	町長 教育長

	<p>(6) 先般の全協で、教育長が「大磯町のいじめ問題を考える会」の発行責任者に電話をした件について、町長に質問したところ、町長から「教育長はそれなりの見解を表明されたもの」との答弁があった。ここでご本人より、それなりの見解をお示しいただきたい。</p> <p>(7) 町長は教育長の責任について「第三者委員会の判断を踏まえる」と答弁しているが、教育長も自身の責任について、同じと考えてよろしいか。</p> <p>(8) 先の議員全員協議会において、7月21日開催の自民党の市町村ヒアリングの場で、被害児童が町外に通うことで発生する交通費、給食費について質問が出たことに対し、「持ち帰り検討する」旨の発言をしたが、その後、党の団長より質問に対して謝罪があり、「回答は求めない」という連絡があったということで間違いないか。</p> <p>2. 大磯町新庁舎整備事業の今後の進め方について 新庁舎整備について町長に伺う。 町長就任時に新庁舎整備を凍結するという方針転換をされて、町民、議会を混乱させたことは猛省をお願いしたい。一方で新庁舎整備に向けて方針を再転換されたことは現実的であり、評価されるべきとも考えている。しかしながら、当初の基本構想・基本計画から大きく変更されている点もあり、町民への十分な説明、議論が必要だと考えている。 その点を踏まえて、質問する。</p> <p>(1) 基本構想・基本計画の変更点と変更した理由について伺う。 (2) 行政案では交付税措置（緊急防災・減災事業債）で15.4億円の算入を見込んでいる計画だが、金額の根拠を伺う。 (3) 金額の根拠に対して、県・国との交渉状況について現状を伺う。 (4) 町長が一部町民に対して、「池田東一郎」として新庁舎整備の説明を個別にして回っていることを聞いている。それは事実か。</p>	町長
<p>6 10番 清田 文雄議員 （60分） 17:00～18:00</p>	<p>1. 災害時のごみの処理について 地震や台風などの自然災害に被災した時には、大量のごみが発生する。そのごみを迅速かつ適切に処理することが、早期の復旧・復興に繋がると考える。各自治体でもその災害規模により対応は定められているが、大磯町の災害時のごみの処理についてはどうか。また、自然災害ではなく、火災に遭われた場合にも大量の廃棄物（火災ごみ）が発生する。去る9月24日に国府地区で家屋二棟と物置が全焼する火災があった。 そこで、これからの季節、火災が多くなる時期でもあり、万が一火災に遭ってしまった場合の火災によって発生した罹災ごみの処理の方法について伺う。</p> <p>2. 行政組織の見直しについて 令和5年11月8日に開催された総務建設常任委員会協議会において、行政組織の見直しについての説明がなされた。新設する「こども家庭係」は、国が設置を努力義務としている「こども家庭センター」の機能を有する組織とのことだが、来年4月の設置に向けて、町の行政組織に対する考</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

	<p>えを伺う。</p> <p>(1) こども家庭係は国が示すこども家庭センターの機能を有するものと理解しているが、職員配置はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 今年度スタートしたこども家庭庁は、多くの省庁にまたがった、こどもに関する施策を一つにまとめ、縦割りの弊害をなくしていくために設置された省庁である。町においては、今年度設置された「大磯町子育て支援対策本部会議」において、横断的に子育て支援施策の取組を進めているものと理解しているが、「子育て支援対策本部会議」の進捗状況はいかがか。</p> <p>3. 大磯町立小学校のいじめ問題について</p> <p>今年4月に被害児童保護者が町の一連の対応について情報開示請求をされて、「重大事態」に認定された件について、今回、被害児童保護者よりお話をお聞きした上で町長・教育長に伺う。</p> <p>被害児童が町外で楽しく過ごせているから良いという訳ではない。私が話している今も被害児童、保護者は大磯町に住んでおり、本来なら被害児童は大磯の小学校に通えたはずである。本件は、いじめ問題に端を発しているが行政、教育委員会が公平公正な対応がなされるかが問われている。この点を踏まえて質問する。</p> <p>(1) 町長は福岡県吉富町のいじめ問題についてご存じか。この町で町長と加害児童保護者が知り合いで、且つ被害児童の保護者に対して事を荒立てないよう求める発言をした、ということで公平性を欠いていることが問題であると共同通信社が報じている。今回の大磯町のこの問題について、私は状況が非常に酷似しているように思える。町長はどう思うか。</p> <p>(2) 今年4月の大磯町いじめ重大事態の問題について、学校名が特定されていないとして、大磯小学校では保護者からの質問に答えないという話を聞いているが事実か。</p> <p>(3) 被害児童保護者は第三者委員会発足前に教育委員会に対して、一般の保護者に対して被害加害者双方の個人情報に配慮したうえで、二次被害を防ぐ観点から、いじめの事実と経緯を説明して欲しいと希望を伝えたと伺っている。そのことについて具体的にどのようなことをしたか。</p>	町長 教育長
<p>7 6番 玉虫志保実議員 (60分) 18:20~19:20</p>	<p>1. 大磯町の「広聴」について</p> <p>町民の行政に対する意見・要望などを聴く広聴活動は行政にとって大切な活動であり、パブリックコメントのようにテーマを限定して意見を求めるものと、町民が自由に意見・提案ができるものがある。</p> <p>今回は、後者の町民が自由に意見・提案ができると考えられる「まちのこえ」についてと広報の場でもある町政報告会について質問する。</p> <p>(1) 町民が意見・提案をいつでも述べることができる開かれた場として「まちのこえ」と「平成目安箱」は同じと理解していたが、違うのか。違うのであれば、その違いについて伺う。</p> <p>(2) 大磯町のいじめ問題についての投書をされた方と今年6月の町議会</p>	町長

議員選挙についての投書をされた方から、「町からの回答がまだないのですが、本当に回答をいただけるのでしょうか。」という相談を受けているが、どのようなになっているのか。

(3) 今年の5月14日(日)に1回目を国府支所で、2回目を保健センターで開催の町主催の町政報告会では、池田町長が自ら、おもな令和5年度の取り組みと、予算について説明された。その時の質疑応答の概要はホームページでみることができるが、9月以降に24地区で開催された池田町長が県議時代に行っていた「出前県政報告会」と同じ形の「出前」町政報告会での質疑応答は行政の広報広聴活動ではないため、質疑応答の概要をホームページで見ることができない。

現職の町長が町職員を伴わない形で行う町政報告会というものを町民としてどのようなものと理解したらよいのか。

そのような形で町政報告会を開催する理由や意義はどのようなものなのか。

町の課題解決のための意見・提案を町民から聞くため、現在進行中の事業に関する報告や意見募集、町長として考えていることを伝えるための町政報告会であるならば、町主催の町政報告会として、24地区や必要と思われる時や場所で開催する方が、質疑応答の概要が町の情報としてホームページに掲載されるため、私たち議員を含め、より多くの方と情報の共有でき、より早い、より良い解決に繋がるのではないかと考えるが、いかがか。

今後も町主催の町政報告会ではなく、職員を同行しない形での町政報告会を継続していかれるのか、今後は前町長が行っていた卓話集会のような町主催の町政報告会を行うことも考えているのか、町長の考えを伺う。

	<p>事や睡眠など実際の避難時のそれに近い体験型のイベントであったが、通常の避難訓練ではわからない課題がたくさんあることを痛感した。</p> <p>いつ起こるか分からない地震や津波などの災害に加え、気候変動の影響で風水害も頻発する昨今、避難する町民側も避難所を運営する側も、実際の災害を限りなく現実に近いかたちで訓練しておくことの重要度は、今後ますます増していくものと思われる。</p> <p>また、ペットの飼い主に対しても継続的な啓発と実際の避難訓練が必要と考える。</p> <p>そこで以下の点につき、町長及び教育長に伺う。</p> <p>(1) 最近の避難所運営委員会の活動状況と今後の課題</p> <p>(2) ペットの災害対策の周知の状況と今後の課題</p>	
<p>11</p> <p>8番 鈴木 京子議員 (80分) 14:15～15:35</p>	<p>1. 大磯町のいじめ・不登校対策は十分か</p> <p>不登校の背景は様々だが、いじめによる不登校の早期解決への対策は十分とは言えないと考える。以下の点を問う。</p> <p>(1) 過去5年間のいじめの認知件数と定義、重大事態の定義と認知件数、解決・未解決の件数とその理由。その後の対策は。</p> <p>(2) 重大事態を受けた後の流れの説明をされたい。だれが関係し、解決にどう関わるのか。関係者の納得を得る方策は何か。</p> <p>(3) 再調査はどのように行われるのか。</p> <p>(4) 校内、校外のフリースクールの状況と課題は何か。適応指導教室は名称変更をすべきではないか。</p> <p>2. 諸計画策定・更新で住民要望は達成できるのか</p> <p>毎年どこかの部署で計画の策定や見直しが行われている。以下の点について所見を問う。</p> <p>(1) 計画を見れば住民の要望や課題がいつ達成できるかわかると思いたい。予算計上されるまで分からないのが現実ではないか。</p> <p>(2) いわゆる計画倒れ、絵に描いた餅といわれないようにする方策は何か。</p> <p>(3) パブリックコメントを経ない構想や計画もある。策定委員会や協議会の委員の理解度もさまざまと考える。現在、町が持つ構想、計画は何件あるか。そのうち、上位法の求めや補助金を得るために必要な計画は何か。</p> <p>(4) PDCA (計画・実行・評価・改善) のサイクルの遂行による職員負担の軽減を図る策はないか。</p> <p>(5) 今後、策定が必要な計画はないか。</p> <p>(6) すべての計画等を網羅し、大磯町の目指す方向と実現する時期がわかる相関図や工程表等は示せないか</p> <p>3. 保育園の待機児童対策はどう進めるのか</p> <p>保育園の待機児童対策の進捗が見えない。来年度から困る保護者をゼロにするために、待機児童の把握をはじめ、実施するためのスピード感が必要だが、どう進めるのか。議会が示した認定こども園の在り方とは別に考</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長</p>

